

<b>科目名： デザイン基礎演習</b>				
英文名： Basics of Design				
担当者： 大西崇之				
開講年次： 1年次	開講期： 通年	科目区分： 専門	必修	単位数： 4単位

**■授業概要**

インテリアデザインを学ぶということは、建築に関する知識やプロダクトデザインに関する知識など、幅広く学ぶ必要があります。この授業は知識の習得だけを目的とせず、それらに関連する演習課題等を通じ、インテリアに関する基礎的な知識の定着と、さらにそれらを深めることで、自身の力でデザインができる基礎的な力の養成を目的としています。また、インテリア業界を知るキャリアデザイン教育も兼ねた授業です。

- 第 1 回： ガイダンス・他人紹介ワークショップ
- 第 2 回： インテリアデザインのプロセスと評価
- 第 3 回： 演習課題①
- 第 4 回： インテリアデザインとは・演習課題②
- 第 5 回： インテリアエレメント・インテリアスタイル・演習課題③
- 第 6 回： 家具デザイン・ウィンドウトリートメント・演習課題④
- 第 7 回： 観察スケッチ演習
- 第 8 回： ダイアグラム演習
- 第 9 回： ライティングデザイン・インテリア設備・演習課題⑤
- 第 10 回： マテリアルコーディネート・カラーコーディネート・演習課題⑥
- 第 11 回： 人間工学・室内環境・演習課題⑦
- 第 12 回： インテリア計画と発想・ユニバーサルデザイン・サステナブルデザイン・演習課題⑧
- 第 13 回： 応用課題①
- 第 14 回： 応用課題②
- 第 15 回： 応用課題③
- 第 16 回： 応用課題④
- 第 17 回： 補講
- 第 18 回： コーディネート課題A-1
- 第 19 回： コーディネート課題A-2
- 第 20 回： コーディネート課題A-3
- 第 21 回： コーディネート課題A-4
- 第 22 回： コーディネート課題A-5
- 第 23 回： コーディネート課題A-6
- 第 24 回： コーディネート課題B-1
- 第 25 回： コーディネート課題B-2
- 第 26 回： コーディネート課題B-3
- 第 27 回： コーディネート課題B-4
- 第 28 回： コーディネート課題B-5
- 第 29 回： コーディネート課題B-6
- 第 30 回： 総括①
- 第 31 回： 総括②
- 第 32 回： 補講
- 第 33 回： 補講
- 第 34 回： 補講

**■教科書**

課題プリント及び参考資料、スライド及びビデオ等

**■参考文献**

図解テキスト インテリアデザイン（井上書院）

**■実務との関連**

インテリア業界を幅広く知るとともに、業界で必要とされる基礎知識を学びます。

**■試験方法**

原則として試験は行いません。

**■成績評価基準**

原則として課題作品に出席及び受講態度を考慮して評価します。

**■受講生へのメッセージ**

インテリアデザインを学ぶ上での入口となる授業です。まずは幅広い知識の獲得と、自身の手を動かすことでの学びの定着を楽しみながら進めてください。

科目名： インテリア概論

英文名： Introduction to Interior Design

担当者： 石川貴子

開講年次： 1年次

開講期： 通年

科目区分： 専門

必修

単位数： 8単位

### ■授業概要

デザイン概論を通じて学んだインテリアの基礎的な知識をもとに、演習問題等を繰り返し行うことで、学びを定着させることを目的としている。また、この授業はインテリアコーディネーター資格試験における学科試験対策も兼ねており、資格取得を目指すことも目的としている。

- 第 1 回： 科目概要説明「前期インテリア概論で学ぶこと」
- 第 2 回： 販売・コンサルティング①応用
- 第 3 回： 販売・コンサルティング②応用
- 第 4 回： インテリア史①応用
- 第 5 回： インテリア史②応用
- 第 6 回： インテリア構法①応用
- 第 7 回： インテリア構法②応用
- 第 8 回： ファブリック①応用
- 第 9 回： ファブリック②応用
- 第 10 回： インテリア、エクステリアアクセサリ・家具 応用
- 第 11 回： 法規（販売編・技術編）応用
- 第 12 回： 設備①応用
- 第 13 回： 設備②応用
- 第 14 回： 補講
- 第 15 回： 補講
- 第 16 回： 補講
- 第 17 回： 前期定期試験
- 第 18 回： 科目概要説明「後期インテリア概論で学ぶこと」
- 第 19 回： 造形・色彩 応用
- 第 20 回： 一般常識 応用
- 第 21 回： 人間工学①応用
- 第 22 回： 人間工学②応用
- 第 23 回： 室内環境①応用
- 第 24 回： 室内環境②応用
- 第 25 回： ユニバーサルデザイン 応用
- 第 26 回： 照明①応用
- 第 27 回： 照明②応用
- 第 28 回： 建具①応用
- 第 29 回： 建具②応用
- 第 30 回： 仕上材①応用
- 第 31 回： 仕上材②応用
- 第 32 回： 補講
- 第 33 回： 補講
- 第 34 回： 後期定期試験

### ■教科書

建築デザインの基礎、及び各テーマごとにプリントを配付する。

### ■参考文献

課題内容に応じ紹介する。

### ■実務との関連

インテリア関連業務全般における基礎知識を学ぶ。インテリア関連資格試験受験にも必要な知識です。

### ■試験方法

定期試験（前期・後期）

### ■成績評価基準

定期試験：60%、演習課題：25%、出席（受講態度）：15%にて評価する。

### ■受講生へのメッセージ

- ① 課題に取り組む姿勢を重視し、提出期限と出席チェックは厳しいです。
- ② 課題テーマ（内容）については状況により変更する場合があります。

科目名： テクニカルⅠ

英文名： Design of Living Space

担当者： 岸上純子

開講年次： 1年次

開講期： 前期

科目区分： 専門

選択

単位数： 2単位

#### ■授業概要

仕事を行う上でも特に重要となる技術の1つに図面での表現技法があります。これらはある一定のルールを身につけるだけで習得できるものではなく、「描くことそのものを考える」ことも重要となります。この授業では図面に描かれる様々な要素を細かく分解し、それぞれをしっかりと考えながら表現する課題を通じて、表現技法に幅を持たせることを目的としています。

- 第 1 回： 科目概要説明「スペースデザインについて…」 課題：自己紹介をしてみよう
- 第 2 回： プレゼンテーションとは？ 課題：図面をプレゼンテーションをしてみよう①
- 第 3 回： 課題：図面をプレゼンテーションしてみよう②
- 第 4 回： 空間のスケールってなんだろう？ 課題：空間のスケールをあててみよう
- 第 5 回： プレゼンテーションとは？ 課題：建築ガイドマップをつくってみよう
- 第 6 回： 植栽表現、外構計画って？ 課題：植栽を描いてみよう
- 第 7 回： 家具ってどんなものがある？ 課題：ベンチをスケッチしてみよう
- 第 8 回： 空間ってなんだろう？ 課題：自分ともう一人のための空間を考えてみよう
- 第 9 回： 前半課題の仕上げ作業
- 第 10 回： この空間はどんな空間？ 課題：スライド写真の図面化
- 第 11 回： エスキス作業ってどうやってするの？ 課題：平面エスキスをスケッチを描いてみよう
- 第 12 回： 素材ってなんだろう？ 課題：素材の収集と表現
- 第 13 回： 実際の住宅をカスタマイズ 課題：住宅図面をトレースしてみよう
- 第 14 回： 課題：住宅図面に家具を配置してみよう
- 第 15 回： 最終プレゼン
- 第 16 回： 補講
- 第 17 回： 補講

#### ■教科書

建築デザインの基礎（彰国社）及び、スライドまたは課題ごとにプリントを配付する。

#### ■参考文献

建築デザインの基礎（彰国社）及び、各課題ごとにプリントを配付する。

#### ■実務との関連

業界業務のあらゆる場面（現場）での伝達手法としての図面での表現技法を習得する。

#### ■試験方法

原則として試験は行わない。

#### ■成績評価基準

課題作品：80%、出席（受講態度）：20%にて評価する。

#### ■受講生へのメッセージ

- ① 課題に取り組む姿勢を重視し、提出期限と出席チェックは厳しいです。
- ② 課題テーマ（内容）については状況により変更する場合があります。

科目名： テクニカルⅡ

英文名： Sketch for Interior Design

担当者： 室谷孝太郎

開講年次： 1年次

開講期： 前期

科目区分： 専門

選択

単位数： 2単位

■授業概要

デザイナーに必要な基礎能力としての図学力、スケッチ力、空間及びモノを創り出しそれを伝えるまでの無形のモノを3次元的にかつビジュアルに表現できる知識と技術を実務・実践的に応用できる技として実習・演習を通して学習する。

第1回： パースの基礎：インテリアスケッチについて・パースの基本・VPって何、透視図の種類

第2回： 透視図の種類（1から3消点）・正方形の取り方・分割法

第3回： 床の増殖・分割法・楕円の形

第4回： パースラインの作り方・陰影のおはなし

第5回： インテリア小物を描こう

第6回： インテリア家具を描こう

第7回： インテリア空間を描く：1消点パース・凹凸のある平面

第8回： 勾配天井・出窓のある空間

第9回： 内装材のテクスチャを描く

第10回： インテリアパースの視点・スケッチパースに家具を描こう

第11回： リビング・ダイニング

第12回： 寝室

第13回： 平面図着色

第14回： パースグリッドで描く①

第15回： パースグリッドで描く②

第16回： パース演習：着色、マーカー、色鉛筆の着色テクニック

第17回： まとめ：復習、作品講評など

■教科書

プリント、スライド等及び建築デザインの基礎（彰国社）

■参考文献

■実務との関連

インテリア業界で仕事をする上で欠かすことのできない、パースを用いた表現の基本的な技法を学ぶ。

■試験方法

原則として試験は行わない。

■成績評価基準

課題作品に出席、態度を考慮して評価する。

■受講生へのメッセージ

課題材料は指示されたものを予め各自で用意しておくこと。頑張ってください…。

科目名： CAD基礎演習

英文名： Computer Aided Design

担当者： 川北佳代子

開講年次： 1年次

開講期： 後期

科目区分： 専門

選択

単位数： 2単位

■授業概要

CADの基礎から応用までを実習を通して学び、多くの課題をこなすことにより、CADの特性や図面のルールを身に付けていきます。同時に進む製図の授業とのコラボレーションも取り入れたいと思います。  
CADとはどんなものか？手描き図面（スケッチ）とどこが異なるのか等、その長所と短所を理解すると共に、その利用方法、操作方法等を学びます。

第 1 回： CADソフトの概説…コンピューターの利用方法、ソフトと基本操作の説明。

第 2 回： 2Dの概説…2Dの利用方法、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 3 回： 2Dの概説…2Dの利用方法、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 4 回： 2Dの概説…2Dの利用方法、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 5 回： 2Dの概説…2Dの利用方法、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 6 回： 2Dの概説…2Dの利用方法、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 7 回： 第1課題…平面図の作成、簡単な平面図の作成

第 8 回： 第1課題…平面図の作成、簡単な平面図の作成

第 9 回： 第2課題…平面図の作成、平面図の作成

第 10 回： 第2課題…平面図の作成、平面図の作成

第 11 回： 第3課題…平面図の作成、平面図の作成

第 12 回： 第3課題…平面図の作成、平面図の作成

第 13 回： 第3課題…平面図の作成、平面図の作成

第 14 回： 2Dの復習と3Dの概説…3Dの基本操作、2Dと3Dの違い、3Dモデルの操作方法を説明します。

第 15 回： 第4課題…3Dモデル作成、簡単な3Dモデルを作成

第 16 回： 第4課題…3Dモデル作成、簡単な3Dモデルを作成

第 17 回： 第4課題…3Dモデル作成、簡単な3Dモデルを作成

■教科書

プリント

■参考文献

■実務との関連

業界業務における表現手法（プレゼンテーション）の必須技法を習得する。

■試験方法

原則として試験は行わない。

■成績評価基準

課題作品に出席及び受講態度を考慮して評価します。

■受講生へのメッセージ

進行中の課題プリント及び筆記用具とスケールを必ず持参すること。

科目名： スペースデザイン a

英文名： Design of space a

担当者： 木村吉成・大西崇之

開講年次： 2年次

開講期： 通年

科目区分： 専門

必修

単位数： 4単位

#### ■授業概要

私たちの生きる時代には様々な問題があります。それらを身近に感じることで、現代におけるデザイナーの役割が見えてきます。結果、それは「デザイン」の領域への視野を広げることにつながるのです。この授業はチーム作業を主としています。チーム作業での複眼的なアプローチを通じ、その視野を獲得してください。なお、後期からは個人プロジェクトとして取り組みます。

第 1 回： 科目概要説明「さまざまなデザインについて」

第 2 回： デザインの「手法」を学ぶ①

第 3 回： デザインの「手法」を学ぶ②

第 4 回： デザインの「手法」を学ぶ③

第 5 回： デザインの「手法」を学ぶ④

第 6 回： リサーチ課題A チーム作業①

第 7 回： リサーチ課題A チーム作業②

第 8 回： リサーチ課題A チーム作業③

第 9 回： 学外講師レクチャー①

第 10 回： リサーチ課題A 発表・講評

第 11 回： リサーチ課題B チーム作業①

第 12 回： リサーチ課題B チーム作業②

第 13 回： 学外講師レクチャー②

第 14 回： リサーチ課題B チーム作業③

第 15 回： リサーチ課題B チーム作業④

第 16 回： 事例見学会（学外）

第 17 回： リサーチ課題B 発表・講評

第 18 回： 個人プロジェクトA-1

第 19 回： 個人プロジェクトA-2

第 20 回： 個人プロジェクトA-3

第 21 回： 個人プロジェクトA-4

第 22 回： 個人プロジェクトA-5

第 23 回： 個人プロジェクトA-6

第 24 回： 個人プロジェクトA-7

第 25 回： 個人プロジェクトA-8

第 26 回： 中間チェック

第 27 回： 個人プロジェクトB-1

第 28 回： 個人プロジェクトB-2

第 29 回： 個人プロジェクトB-3

第 30 回： 個人プロジェクトB-4

第 31 回： 個人プロジェクトB-5

第 32 回： 個人プロジェクトB-6

第 33 回： 個人プロジェクトB-7

第 34 回： 課題作品発表と講評

——— 各自のテーマと実力及び進捗状況をみながら指導内容を考える。

#### ■教科書

教科書は無し。課題ごとにプリントを配付する。

#### ■参考文献

課題内容に応じ紹介する。

#### ■実務との関連

様々な問題に気づき、解決するためには「技術」が必要です。社会でも必要とされる問題解決能力を高めます。

#### ■試験方法

原則として試験は行わない。

#### ■成績評価基準

課題作品：70%、出席（受講態度）：30%にて評価する。

#### ■受講生へのメッセージ

直接的にモノをデザインする授業ではありません。ですが、この授業で養われる技術はこの先を生きる上でも重要なものとなります。肩の力を抜き、五感をフルに活用しつつ楽しみながら取り組んでください。

科目名： スペースデザインb

英文名： Design of space b

担当者： 室谷孝太郎

開講年次： 2年次

開講期： 通年

科目区分： 専門

必修

単位数： 4単位

### ■授業概要

インテリア業界での仕事イメージから作成された課題（キャリアイメージ課題）を通じ、実際に仕事を行う上で必要な様々な技術を実践的に学ぶ。また、これらの課題から自身の進路を模索するためのきっかけを得ることも目的としている。なお、後期からは個人プロジェクトとして取り組みます。

- 第 1 回： 科目概要説明・第 1 課題「オフィス空間の家具・什器レイアウト」①
- 第 2 回： 第 1 課題「オフィス空間の家具・什器レイアウト」②
- 第 3 回： 第 2 課題「内装材コーディネート」①
- 第 4 回： 第 2 課題「内装材コーディネート」②
- 第 5 回： 第 2 課題「内装材コーディネート」③
- 第 6 回： 第 3 課題「LDKコーディネート」①
- 第 7 回： 第 3 課題「LDKコーディネート」②
- 第 8 回： 第 3 課題「LDKコーディネート」③
- 第 9 回： 第 3 課題「LDKコーディネート」④
- 第 10 回： 第 4 課題「ライティング計画」①
- 第 11 回： 第 4 課題「ライティング計画」②
- 第 12 回： 第 4 課題「ライティング計画」③
- 第 13 回： 第 5 課題「エクステリア空間の計画」①
- 第 14 回： 第 5 課題「エクステリア空間の計画」②
- 第 15 回： 第 6 課題「トイレ空間のコーディネート」
- 第 16 回： 補講
- 第 17 回： 補講
- 第 18 回： 個人プロジェクトA-1
- 第 19 回： 個人プロジェクトA-2
- 第 20 回： 個人プロジェクトA-3
- 第 21 回： 個人プロジェクトA-4
- 第 22 回： 個人プロジェクトA-5
- 第 23 回： 個人プロジェクトA-6
- 第 24 回： 個人プロジェクトA-7
- 第 25 回： 個人プロジェクトA-8
- 第 26 回： 中間チェック
- 第 27 回： 個人プロジェクトB-1
- 第 28 回： 個人プロジェクトB-2
- 第 29 回： 個人プロジェクトB-3
- 第 30 回： 個人プロジェクトB-4
- 第 31 回： 個人プロジェクトB-5
- 第 32 回： 個人プロジェクトB-6
- 第 33 回： 個人プロジェクトB-7
- 第 34 回： 課題作品発表と講評

各自のテーマと実力及び進捗状況をみながら指導内容を考える。

### ■教科書

教科書は無し。課題ごとにプリントを配付する。

### ■参考文献

課題内容に応じ紹介する。

### ■実務との関連

インテリア業界での仕事イメージを課題を通じて実践的に学ぶ。

### ■試験方法

原則として試験は行わない。

### ■成績評価基準

課題作品：70%、出席（受講態度）：30%にて評価する。

### ■受講生へのメッセージ

ただ単に課題をこなすだけではなく、その先にある業界での仕事をしっかりとイメージし、自身の進路を模索する上での有効なきっかけとしてください。

科目名： 卒業制作				
英文名： Graduation Design and Drawing				
担当者： インテリアデザイン学科担当教員				
開講年次： 2年次	開講期： 後期	科目区分： 専門	必修	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>インテリアデザイン学科での学びの定着と、さらにそれらを発展させた取り組みです。しかし、ここでの卒業制作は「卒業すること」だけが目的ではなく、平行しながら進んでいる自身の「進路イメージ」（キャリアデザイン）とも繋がったものでなくてはなりません。よって、事前に作成したポートフォリオをきっかけに、その延長上での作品制作を行います。結果、社会で必要とされる仕事を備えた人材へと成長するのです。これは専門学校における「卒業制作」の目的でもあるのです。</p> <p>第 1 回：</p> <p>第 2 回：</p> <p>第 3 回：</p> <p>第 4 回：</p> <p>第 5 回：</p> <p>第 6 回：</p> <p>第 7 回：</p> <p>第 8 回：</p> <p>第 9 回：</p> <p>第 10 回：</p> <p>第 11 回：</p> <p>第 12 回：</p> <p>第 13 回：</p> <p>第 14 回：</p> <p>第 15 回：</p> <p>第 16 回：</p> <p>第 17 回：</p> <p>●担当教員の指導方法と制作作品による。</p> <p>なお、提出作品は批評会を行い後日合否の判定を行う。</p>				
<p>■教科書</p> <p>特に無し</p>				
<p>■参考文献</p>				
<p>■実務との関連</p> <p>自身の進路イメージ（キャリアデザイン）と繋がることで、業界へのスムーズな着地を目的としています。</p>				
<p>■試験方法</p>				
<p>■成績評価基準</p> <p>批評会による作品評価</p>				
<p>■受講生へのメッセージ</p> <p>ここでの作業は自分自身に課せられた「仕事」ととらえてください。そのためには「自走する力」が必要です。最後まで粘り強くがんばってください。</p>				

科目名： インテリア特論

英文名： Theory of Interior Design

担当者： 石川貴子

開講年次： 2年次

開講期： 前期

科目区分： 専門

選択

単位数： 2単位

■授業概要

1年次におけるインテリア概論を基にそれらを更に発展させることで、応用的な知識の習得を目的としている。また、この授業はインテリアコーディネーター資格試験における学科試験対策も兼ねており、資格取得を目指すことも目的としている。

第 1 回： インテリア販売

第 2 回： 消費生活関連法規

第 3 回： 家具

第 4 回： ウィンドウトリートメント

第 5 回： 照明

第 6 回： 材料

第 7 回： 建具

第 8 回： 住宅設備

第 9 回： 各種エレメント・関連情報

第 10 回： インテリアの歴史

第 11 回： インテリア計画

第 12 回： 環境工学

第 13 回： 構造と施工

第 14 回： 住宅設備

第 15 回： 色彩と造形

第 16 回： 表現技法

第 17 回： 建築関連法規

■教科書

インテリアコーディネーターハンドブック【技術編】【販売編】 配布プリント

■参考文献

授業内容に応じ紹介する。

■実務との関連

インテリア関連業務全般における基礎知識を基にその応用力を養う。インテリア関連資格試験受験にも必要な知識です。

■試験方法

定期試験（前期）

■成績評価基準

定期試験：70%、演習課題：20%、出席（受講態度）：10%にて評価する。

■受講生へのメッセージ

- ① 課題に取り組む姿勢を重視し、提出期限と出席チェックは厳しいです。
- ② 課題テーマ（内容）については状況により変更する場合があります。

科目名： CAD応用演習 I

英文名： Computer Graphics I

担当者： 川北佳代子

開講年次： 2年次

開講期： 前期

科目区分： 専門

選択

単位数： 2単位

■授業概要

3Dソフトでモデリングすることにより、物を三次元で考え、形状を把握しつつデザイン出来る力を身に付けていきます。又、イラストレーターやフォトショップ等、実際の現場でも幅広く使用されているデザイン系のソフトを併用し、プレゼンテーションするということにも触れていきたいと思います。3Dソフトとはどのようなものなのか？ 特性や利点を理解し、操作方法を習得します。他のソフトとの組み合わせによりどんなことが可能なのか？ さらに表現方法が広げられることも学びます。

第 1 回： コンピュータグラフィックスの概説…コンピュータの利用方法、

第 2 回： 2D・3Dの概説…2Dと3Dの考え方や利用方法

第 3 回： 2Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 4 回： 2Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 5 回： 2Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 6 回： 3Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 7 回： 3Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 8 回： 3Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 9 回： 3Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 10 回： 3Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 11 回： 3Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 12 回： 3Dソフトの基本操作…使用ソフトの特性、課題を作成しながら基本操作を学びます。

第 13 回： 自由課題…ソフトの利用方法とプレゼンテーション①

第 14 回： ソフトの利用方法とプレゼンテーション②

第 15 回： ソフトの利用方法とプレゼンテーション③

第 16 回： ソフトの利用方法とプレゼンテーション④

第 17 回： まとめと講評

■教科書

プリント

■参考文献

■実務との関連

業界業務における表現手法（プレゼンテーション）のより高度な技法を習得する。

■試験方法

■成績評価基準

課題作品に出席及び受講態度を考慮して評価します。

■受講生へのメッセージ

課題提出期限と出席チェックは厳しいです。進行中の課題プリント及び筆記用具とスケールを必ず持参すること。

科目名： CAD応用演習Ⅱ

英文名： Computer Graphics Ⅱ

担当者： 川北佳代子

開講年次： 2年次

開講期： 後期

科目区分： 専門

選択

単位数： 2単位

■授業概要

3Dソフトでモデリングすることにより、物を三次元で考え、形状を把握しつつデザイン出来る力を身に付けていきます。又、イラストレーターやフォトショップ等、実際の現場でも幅広く使用されているデザイン系のソフトを併用し、プレゼンテーションするということにも触れていきたいと思えます。

第 1 回： 2D、3Dの基本操作復習と応用編…複数のソフトの連携方法

第 2 回： 応用編…複数のソフトの連携方法

第 3 回： 自由課題Ⅰ…ソフトの利用方法とプレゼンテーション①

第 4 回： ソフトの利用方法とプレゼンテーション②

第 5 回： ソフトの利用方法とプレゼンテーション③

第 6 回： 自由課題Ⅱ…ソフトの利用方法とプレゼンテーション①

第 7 回： ソフトの利用方法とプレゼンテーション②

第 8 回： ソフトの利用方法とプレゼンテーション③

第 9 回： 卒業制作への応用…解説とミーティング

第 10 回： 応用課題Ⅰ…ソフトの利用方法、空間のモデリング方法、表現方法①

第 11 回： ソフトの利用方法、空間のモデリング方法、表現方法②

第 12 回： ソフトの利用方法、空間のモデリング方法、表現方法③

第 13 回： ソフトの利用方法、空間のモデリング方法、表現方法③

第 14 回： 自由課題Ⅲ…ソフトの利用方法とプレゼンテーション①

第 15 回： ソフトの利用方法とプレゼンテーション②

第 16 回： ソフトの利用方法とプレゼンテーション③

第 17 回： まとめと作品講評

■教科書

プリント

■参考文献

■実務との関連

業界業務における表現手法（プレゼンテーション）のより高度な技法を習得する。

■試験方法

■成績評価基準

課題作品に出席及び受講態度を考慮して評価します。

■受講生へのメッセージ

課題提出期限と出席チェックは厳しいです。デザイン演習Ⅲaを履修している事が非常に望ましい。進行中の課題プリント及び筆記用具とスケールを必ず持参すること。